令和５年度第４回和泉市地域福祉推進協議会　振り返り資料

【開催日時】　令和６年１月１６日（火）午前１０時から正午

【主な内容】

議題

『第５次和泉市地域福祉基本計画・第５次和泉市地域福祉活動計画の素案について』

①第３回地域福祉推進協議会の振り返りを行い、委員からの提案とその対応を報告した。

②第４回地域福祉推進協議会の進め方の説明および、第５次和泉市地域福祉基本計画・第５次和泉市地域福祉活動計画の素案の概要や特徴を説明した。

③計画素案について委員よりご意見をいただいた。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 委員からの意見 | その場対応 | 対応状況 | 対応済 |
| 第２回 | パブリックコメントの前に各委員に（地域福祉計画に）目を通してもらうことも大事だと思います。 | 計画素案が完成次第、各委員に説明する予定。 | 本日、協議会を開催。取り組み及び取り組み内容を審議いただきます。１月に意見募集（パブリックコメント）実施前に計画素案をお示しします。３月に意見募集（パブリックコメント）実施後の計画素案を協議会にてお示しさせていただきます。 | 済 |
| 第３回 | 民生委員・児童委員や主任児童委員は、今回の計画に盛り込んでいる事業はすでに取り掛かっているが、なぜ改めて計画に記載するのか | 地域福祉、地域活動の担い手が課題で、民生委員・児童委員や主任児童委員さんのより一層のご活躍への期待を込めて掲載しているもの（吉田副市長）民生委員・児童委員、主任児童委員の現状と課題分析に見合った書き方、位置づけ、市の関わりを盛り込んで修正していきます。 | 計画に盛り込みます。 | 済 |
|  | 地域の福祉活動に多くの民生委員・児童委員が関わっていただいている。委員活動とボランティアのバランス（切り分け）をとる必要があるのではないか。 | 民生委員・児童委員に依存しすぎず、地域の人が活動を理解して協力するということがすごく大事。 |  | 済 |
|  | 新しい公共について北部リージョンセンターの空きスペースを市民センターにしてはどうか | （吉田副市長）社会を支える方々を作っていく。市民活動の拠点強化に向け検討していく | 計画の基本目標３の「多様な主体どうしの連携による担い手・社会資源の拡充」の取り組みに記載。「新しい公共」、「創発の場」の開発、重層的支援(地域づくり)に記載します（記載内容検討中）⇒北部リージョンセンターの空きスペース利用は、担当課と情報共有しています。 | 済 |
|  | 高齢者の居場所について、小さなコミュニティに沢山あればいい⇒他の地方公共団体の取り組みの紹介あり（住み開き、縁側） | （吉田副市長）コミュニティの拠点づくりの取り組み項目がないので計画に加えます。令和６年４月から事業実施は無理なので検討するという内容を計画に盛り込みます | 検討事項として計画に項目を追加できていませんが、令和６年４月以降に検討し、計画修正のタイミングで盛り込みます。 | 令和６年度持ち越し |
|  | 子どもの居場所について、遊び場所の確保 | 子ども計画策定に向け議論する予定。子どもの意見、発言を計画の中心に据える | 来年度末までに議論する⇒子育て支援室に伝え認識を共有 | 済 |
|  | 再犯防止対策の推進 | 再犯防止計画に記載されていることを実施していく | 再犯防止対策の推進を計画に盛り込む | 済 |
|  | 市職員への意識改革まで計画に盛り込むのか | 市職員の地域福祉への意識向上のため取り組みの一つとして載せる | 取り組み一覧に残し、計画に反映する | 済 |
|  | KPI・KGIについて | 今後業務目標と成果目標をしっかり書く | 計画に記載する各取組について指標を設けるどのような指標にするかは検討中及び調整中⇒業務目標・成果目標と表記とし、目標値は可能な限り数値で示した。 | 済 |
| 第４回 | 数値目標に地域の納得感が伴っていない。１年ごとに各校区で決めた目標を評価・検討、更新していきたい。 | （吉田副市長）今年度中には、十分な議論をして各校区の目標値を入れるのは難しい。計画の内容は審議会で議論し、毎年修正していく | 市社協としての目標値を記載した。また、校区ごとの目標値は、今後、審議会や校区で議論を重ね、市の目標と調和させていくようにする。 | 済 |
|  | 罪を犯した人への偏見を人権問題として取り上げて啓発する。 |  | 基本目標4「誰もが、自分らしく、安心して、楽しく暮らせるまちへ」に『福祉学習プログラムの企画と実施』の取り組みを記載。基本目標5「地域共生社会の実現へ向けての機運醸成、意識改革、体制整備、議論の場」に『機運の醸成、住民意識の涵養』の取り組みを記載 | 済 |
|  | 団体同士のつながりが希薄。委員同士や校区などの横の連携を強化する。 | （吉田副市長）連携する以前の課題として、職員・住民の意識を変えることが必要 | 基本目標5「地域共生社会の実現へ向けての機運醸成、意識改革、体制整備、議論の場」に意識改革について記載 | 済 |
|  | 市社協の主体性を示してほしい | 市から言われたことをそのままするのではなく、市社協としての活動をとおして存在を示していく | 左記のとおり | 済 |
|  | 計画表紙は、「第５次和泉市地域福祉基本・活動計画」とし、下部に「和泉市・和泉市社会福祉協議会」としてはどうか。 | 計画の名称変更、市と市社協の連名にする | 計画に反映した | 済 |
|  | ５か年固定の計画ではなく、毎年検討し修正していくことを、市長の言葉で入れる。 |  | 毎年検討、修正する旨を計画に記載 | 済 |